

9. 基地と住民生活

本県の県土面積の約10.2%を占める米軍基地の存在は、航空機騒音や実弾射撃演習による流弾などの事故、その他種々の基地被害が発生して県民の日常生活に少なからず影響を与えている。

本市においても、市面積の約7.7%を占める基地が存在し、基地に起因する事件、事故等が度々発生して市民に被害と不安を与えている。

このため、市としては、市民の安全とよりよい生活環境を確保する立場から、国、県、米軍等に対する要請等を行い、基地被害の未然防止に努めている。

(1) 航空機騒音

米軍基地から派生する基地被害は多岐にわたり、なかでも嘉手納飛行場からの航空機騒音は、周辺住民の生活環境に重大な悪影響を与えている。

嘉手納飛行場には、F-15 イーグル戦闘機、KC-135R 空中給油機、P-3C オライオン対潜哨戒機等の米軍機が常駐し、エンジン調整やタッチ・アンド・ゴーなどの飛行訓練と合わせて、三沢基地（青森）をはじめとした在日米軍、在韓米軍機、岩国基地及び第7艦隊の艦載機も恒常的に飛来し、騒音を間断なく発生させている。

市は、基地周辺住民の意向を踏まえ、騒音を緩和すべく、国に対し学校防音工事、住宅防音工事をはじめとする騒音防止事業の拡大や住宅地上空での航空機の飛行を禁止するよう要請している。

(2) 原子力潜水艦の寄港

勝連半島の先端部に位置するホワイト・ビーチは、神奈川県横須賀市、長崎県佐世保市とともに原子力軍艦の寄港地となっている。

復帰後350回（平成21年11月末現在）原子力軍艦が寄港し、平成13年9月11日の米国同時多発テロ以降は、年10回以上の寄港状況となっている。

本市では、原子力軍艦の寄港の際の放射性物質の流失による原子力災害の不安が大きいことから、米国国防総省及び外務省など関係機関に寄港中止を求める抗議・要請を行い、市議会においても、寄港に反対する決議及び意見書を採択し、関係機関に要請している。

なお、復帰後、原子力軍艦の寄港時の放射能測定結果では、現在まで異常は認められていないが、昭和55年3月のロングビーチ（巡洋艦）の寄港時、晴天時の平均値を上回る放射線量が検出され、当該海域及び周辺海域の魚介類が売れなくなるなどの被害を与え、また、平成20年のヒューストン（潜水艦）の冷却水漏れは、地域住民に大きな不安を与えた。

(3) 基地被害

昭和34年（1959年）6月30日に宮森小学校、昭和36年12月7日に川崎地区、昭和42年11月に栄野比地区に米軍ジェット機が墜落するなど市民の生命、生活及び財産を喪失する甚大な被害を与えた。

また、基地内及び停泊中の艦船からの油や汚水の流失は市民生活や河川及び海域の環境への影響が問題となっている。

その他、軍人、軍属及びその子弟による投石や一歩間違えば重大な事件・事故になりかねない事案が発生するなど、市民の生命、財産及び人権に重大な影響を及ぼしている。

これら以外にも、基地に起因する種々の被害は発生しており、市としても国や米軍に対し、十分な安全対策の確立等を要請するなど、基地被害の未然防止に努めている。

ア 航空機騒音に係る環境基準について

昭和 48 年 12 月 27 日環境庁告示第 154 号

改正平成 5 年環境庁告示第 91 号

改正平成 12 年環境庁告示第 78 号

公害対策基本法（昭和 42 年法律第 132 号）第 9 条の規定に基づく騒音に係る環境上の条件のうち、航空機騒音に係る基準について次のとおり告示する。

環境基本法（平成 5 年法律第 91 号）第 16 条第 1 項の規定に基づく騒音に係る環境上の条件につき、生活環境を保全し、人の健康の保護に資するうえで維持することが望ましい航空機騒音に係る基準（以下「環境基準」という。）及びその達成期間は、次のとおりとする。

第 1 環境基準

- 1 環境基準は、地域の類型ごとに次表の基準値の欄に掲げるとおりとし、各類型をあてはめる地域は、都道府県知事が指定する。

地域の類型	基準値（単位 WECPNL）
I	70以下
II	75以下

（注） I をあてはめる地域は専ら住居の用に供される地域とし、II をあてはめる地域は I 以外の地域であつて通常の生活を保全する必要がある地域とする。

- 2 1 の環境基準の基準値は、次の方法により測定・評価した場合における値とする。

(1) 測定は、原則として連続 7 日間行い、暗騒音より 10 デシベル以上大きい航空機騒音のピークレベル（計量単位 デシベル）及び航空機の機数を記録するものとする。

(2) 測定は、屋外で行うものとし、その測定点としては、当該地域の航空機騒音を代表すると認められる地点を選定するものとする。

(3) 測定時期としては、航空機の飛行状況及び風向等の気象条件を考慮して、測定点における航空機騒音を代表すると認められる時期を選定するものとする。

(4) 評価は(1)のピークレベル及び機数から次の算式により 1 日ごとの値（単位 WECPNL）を算出し、そのすべての値をパワー平均して行うものとする。

$$\text{算式 } \frac{\text{dB(A)} + 10 \log 10N - 27}{10}$$

（注） dB(A)とは、1日のすべてのピークレベルをパワー平均したものをいい、Nとは、午前 0 時から午前 7 時までの間の航空機の機数を N1、午前 7 時から午後 7 時までの間の航空機の機数を N2、午後 7 時から午後 10 時までの航空機の機数を N3、午後 10 時から午後 12 時までの間の航空機の機数を N4 とした場合における次により算出した値をいう。

$$N = N2 + 3N3 + 10(N1 + N4)$$

(5) 測定は、計量法（平成4年法律第51号）第71条の条件に合格した騒音計を用いて行うものとする。この場合において、周波数補正回路はA特性を、動特性は遅い動特性（SLOW）を用いることとする。

3 1の環境基準は、1日当たりの離着陸回数が10回以下の飛行場及び離島にある飛行場の周辺地域には適用しないものとする。

第2 達成期間等

1 環境基準は、公共用飛行場等の周辺地域においては、飛行場の区分ごとに次表の達成期間の欄に掲げる期間で達成され、又は維持されるものとする。この場合において、達成期間が5年をこえる地域においては、中間的に同表の改善目標の欄に掲げる目標を達成しつつ、段階的に環境基準が達成されるようにするものとする。

飛行場の区分		達成期間	改善目標
新設飛行場			
既設飛行場	第三種空港及びこれに準ずるもの	直ちに	—
	第二種空港(福岡空港を除く。)	A	5年以内
		B	10年以内
	新東京国際空港		
第一種空港(新東京国際空港を除く)及び福岡空港	10年をこえる期間内に可及的速やかに	1 5年以内に、85WECPNL未滿とすること又は85WECPNL以上の地域において屋内で65WECPNL以下とすること。 2 10年以内に、75WECPNL未滿とすること又は75WECPNL以上の地域において屋内で60WECPNL以下とすること。	

備考

- 既設飛行場の区分は、環境基準が定められた日における区分とする。
 - 第二種空港のうち、Bとはターボジェット発動機を有する航空機が定期航空運送事業として離着陸するものをいい、AとはBを除くものをいう。
 - 達成期間の欄に掲げる期間及び各改善目標を達成するための期間は、環境基準が定められた日から起算する。
- 2 自衛隊等が使用する飛行場の周辺地域においては、平均的な離着陸回数及び機種並びに人家の密集度を勘案し、当該飛行場と類似の条件にある前項の表の飛行場の区分に準じて環境基準が達成され、又は維持されるように努めるものとする。
- 3 航空機騒音の防止のための施策を総合的に講じても、1の達成期間で環境基準を達成することが困難と考えられる地域においては、当該地域に引き続き居住を希望する者に対し家屋の防音工事等を行うことにより環境基準が達成された場合と同等の屋内環境が保持されるようにするとともに、極力環境基準の速やかな達成を期するものとする。

イ 航空機騒音による影響

騒音とは

音は「大気の微小な圧力の変化が音速で伝わる」という物理現象です。音の基本的な性質は、音の強さを表すdB（デシベル）と音の高低を表すHz（ヘルツ）によって決まります。人間は、一般に20～20,000Hzの音を聞くことができるといわれています。これらの音のなかで「不快に感じる音」が騒音です。人間の聴感には音の強さや高低などによって異なります。

音の大きさと影響の目安

音の大きさ (デシベル)	音 響 例	音 の 例	生活騒音例
30		深夜の静かな住宅地 ささやき声	
40		昼間の静かな住宅地 図書館	
50		静かな事務所	エアコン室外機
60	睡眠妨害	静かな乗用車の中 普通の会話	テレビ 車のアイドリング
70	計算力の低下	騒々しい事務所 電話のベル	ステレオ
80	集中力の低下	地下鉄の車内	ピアノ
90	作業量の減少	騒々しい工場の中	犬の鳴き声
100	難聴	電車がとおるときのガード下	
110	難聴	ヘリコプターのそば	
120	難聴	飛行機のエンジンの近く	

嘉手納飛行場周辺航空機騒音測定結果

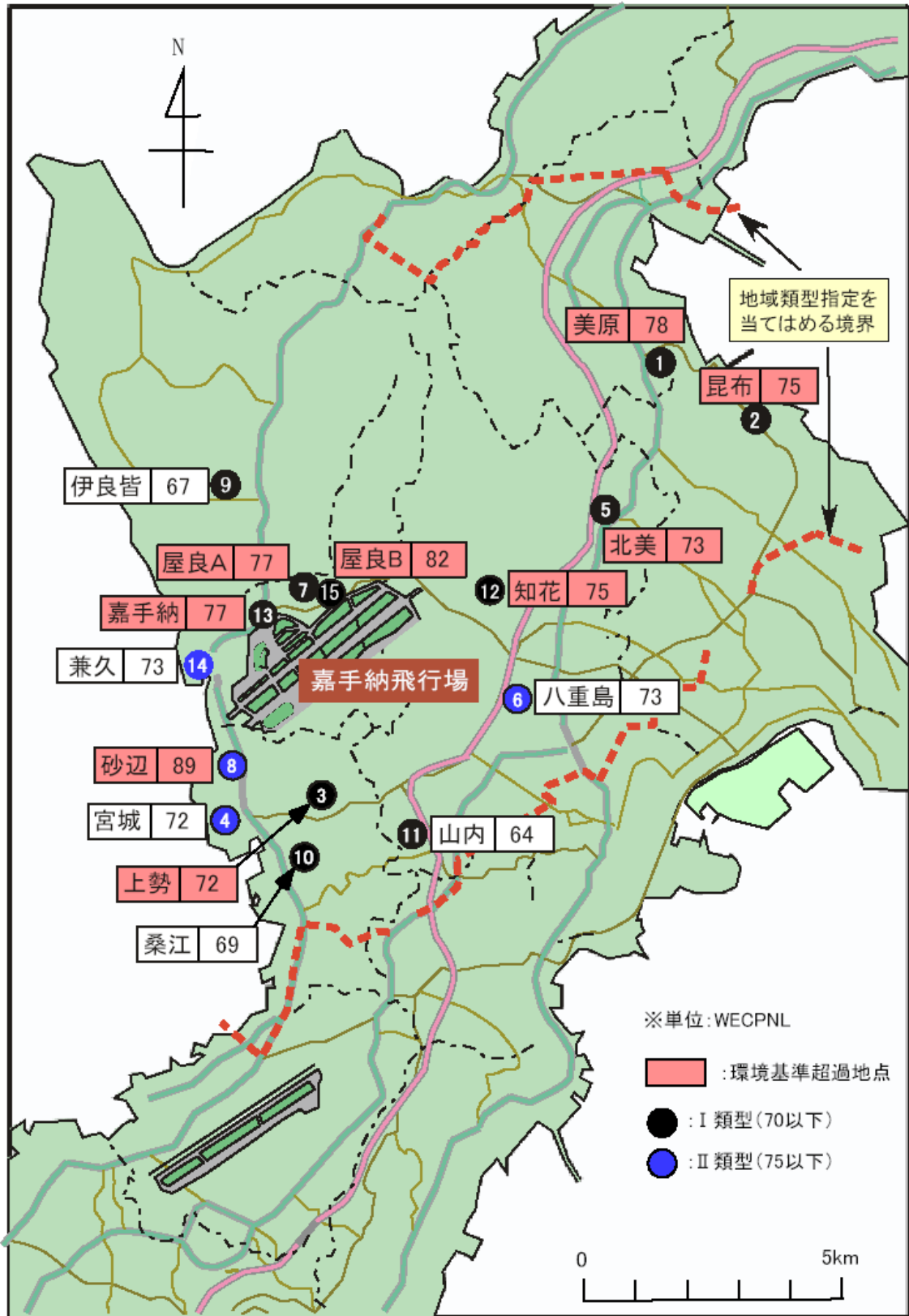


表1 航空機騒音測定結果の概要（嘉手納）

測定地点		環境基準値		測定期間内 平均WECPNL	一日あたりの 騒音発生回数	最大ピークレベル db (A)	一日あたりの騒音 継続累積時間	測定機関	測定日数
NO	測定局名	類型	WECPNL						
1	美原	I	70	<u>78</u> (<u>77</u>)	60.7 (55.8)	110.2 (107.2)	33分50秒	H20/4/1~H21/3/31	365
2	昆布	I	70	<u>75</u> (<u>76</u>)	35.4 (33.4)	104.2 (109.9)	16分48秒	H20/4/1~H21/3/31	365
3	上勢	I	70	<u>72</u> (<u>73</u>)	104.9 (97.3)	106.3 (105.6)	54分20秒	H20/4/1~H21/3/31	365
4	宮城	II	75	72 (73)	74.2 (78.6)	107.2 (107.6)	43分47秒	H20/4/1~H21/3/31	365
5	北美	I	70	<u>73</u> (<u>73</u>)	22.8 (25.7)	105.8 (107.7)	16分31秒	H20/4/1~H21/3/31	365
6	八重島	II	75	73 (72)	16.3 (14.9)	111.4 (110.5)	9分4秒	H20/4/1~H21/3/31	365
7	屋良A	I	70	<u>77</u> (<u>78</u>)	79.1 (60.3)	106.1 (104.1)	47分11秒	H20/4/1~H21/3/31	365
8	砂辺	II	75	89 (<u>91</u>)	40.8 (64.8)	118.7 (119.8)	22分10秒	H20/4/1~H21/3/31	365
9	伊良皆	I	70	67 (67)	26.4 (24.3)	101.6 (99.4)	16分58秒	H20/4/1~H21/3/31	348
10	桑江	I	70	69 (<u>70</u>)	13.4 (13.0)	102.6 (103.8)	9分24秒	H20/4/1~H21/3/31	365
11	山内	I	70	64 (66)	11.7 (13.0)	101.4 (104.3)	6分49秒	H20/4/1~H21/3/31	365
12	知花	I	70	<u>75</u> (<u>76</u>)	46.4 (34.9)	106.8 (106.6)	31分30秒	H20/4/1~H21/3/31	365
13	嘉手納	I	70	<u>77</u> (<u>76</u>)	64.8 (52.5)	100.7 (103.3)	20分10秒	H20/4/1~H21/3/31	356
14	兼久	II	75	73 (73)	45.7 (47.1)	99.9 (102.5)	11分36秒	H20/4/1~H21/3/31	363
15	屋良B	I	70	<u>82</u> (<u>81</u>)	110.2 (91.2)	106.7 (105.7)	33分15秒	H20/4/1~H21/3/31	357

※WECPNLの下線付きの値は環境基準値超過を示す。

※WECPNL、1日あたりの騒音発生回数及び最大ピークレベルの（ ）内は平成19年度の値を示す。

※常時測定局のうち測定日数が366日（1年）に満たないものは、停電や機器の故障もしくは台風による

欠測などの理由による。

注 平成20年度沖縄県文化環境部環境保全課の資料による

表2 曜日別の騒音発生回数（嘉手納）

(回/日)

測定地点	年度	日	月	火	水	木	金	土
1 美原	19	19.4	58.9	78.2	76.2	75.7	56.6	26.4
	20	18.8	66.4	84.6	84.9	83.0	59.7	27.3
2 昆布	19	9.4	37.0	47.2	45.4	45.1	35.3	14.0
	20	9.4	41.0	49.3	51.9	49.8	32.9	12.9
3 上勢	19	42.4	101.8	128.3	128.0	131.3	100.2	49.0
	20	47.1	116.3	136.2	137.8	132.4	103.8	60.0
4 宮城	19	19.8	85.7	110.0	112.6	108.6	83.9	30.2
	20	15.6	84.6	113.8	103.0	100.1	74.9	26.2
5 北美	19	5.9	27.7	37.1	37.2	37.2	26.1	9.2
	20	5.3	24.0	33.8	35.3	32.3	21.1	7.7
6 八重島	19	4.8	15.5	18.7	21.6	22.0	16.9	6.0
	20	5.1	17.4	23.5	23.7	20.6	15.9	8.0
7 屋良A	19	13.5	67.3	86.5	88.3	85.4	61.8	20.3
	20	18.6	89.5	116.5	112.6	109.7	76.2	29.7
8 砂辺	19	14.0	72.6	89.9	95.1	93.1	67.5	22.0
	20	6.3	44.2	68.3	59.8	55.8	40.5	9.9
9 伊良皆	19	1.8	26.7	36.6	36.8	33.5	26.6	8.5
	20	2.5	29.2	42.9	40.7	34.4	26.8	7.2
10 桑江	19	1.8	13.7	18.8	19.1	19.8	13.7	4.4
	20	1.9	13.8	21.5	21.5	19.3	12.6	3.1
11 山内	19	1.9	14.7	17.8	19.1	19.6	14.5	3.4
	20	1.2	14.0	16.8	17.8	17.4	11.7	2.8
12 知花	19	4.6	38.5	49.5	54.1	51.7	35.7	10.4
	20	11.0	52.2	69.5	64.3	65.3	45.1	17.1
13 嘉手納	19	22.1	53.6	69.3	70.0	68.8	56.8	26.4
	20	36.2	67.8	82.5	84.1	82.5	60.6	39.8
14 兼久	19	19.6	49.2	59.5	60.0	62.7	50.0	27.9
	20	17.0	50.8	64.4	62.7	56.1	41.6	26.3
15 屋良B	19	43.8	89.8	111.1	106.3	117.6	106.8	63.9
	20	52.1	116.9	140.8	141.1	132.2	107.5	78.4

注 平成20年度沖縄県文化環境部環境保全課の資料による

表3 時間帯別の月平均騒音発生回数（嘉手納）

												(回) / (日)	
測定局	時間	N1 (00~07)		N2 (07~19)		N3 (19~22)		N4 (22~24)		終日	22~06		
	年度	回数	比率	回数	比率	回数	比率	回数	比率	回数	回数		
1 美原	19	48.9	2.9%	1463.7	86.2%	164.5	9.7%	20.9	1.2%	1697.9	46.7		
	20	53.4	2.9%	1598.9	86.6%	174.6	9.5%	20.3	1.1%	1847.2	46.6		
2 昆布	19	30.2	3.0%	886.2	87.2%	86.2	8.5%	13.7	1.3%	1016.3	30.1		
	20	34.0	3.2%	923.0	85.8%	104.8	9.7%	13.8	1.3%	1075.7	31.8		
3 上勢	19	35.6	1.2%	2521.1	85.2%	379.2	12.8%	23.4	0.8%	2959.2	41.7		
	20	35.8	1.1%	2644.3	82.9%	490.9	15.4%	18.8	0.6%	3189.8	35.3		
4 宮城	19	31.1	1.3%	2062.0	86.3%	272.9	11.4%	23.7	1.0%	2389.7	45.0		
	20	29.3	1.3%	1947.8	86.4%	260.8	11.6%	17.8	0.8%	2255.5	35.6		
5 北美	19	22.8	2.9%	674.2	86.2%	77.0	9.8%	8.1	1.0%	782.1	19.6		
	20	23.0	3.3%	600.0	86.5%	63.6	9.2%	7.3	1.1%	693.9	17.9		
6 八重島	19	28.0	6.2%	364.7	80.3%	50.6	11.1%	11.1	2.5%	454.5	26.6		
	20	30.1	6.1%	397.6	80.1%	58.5	11.8%	10.3	2.1%	496.4	23.2		
7 屋良A	19	50.3	2.7%	1517.7	82.7%	234.9	12.8%	31.9	1.7%	1834.8	61.0		
	20	66.7	2.8%	1985.6	82.6%	317.7	13.2%	34.8	1.4%	2404.7	72.1		
8 砂辺	19	29.9	1.5%	1679.8	85.3%	237.8	12.1%	22.4	1.1%	1969.9	42.6		
	20	13.8	1.1%	1074.4	86.7%	143.3	11.6%	7.9	0.6%	1239.5	15.9		
9 伊良皆	19	5.1	0.7%	654.7	88.5%	77.3	10.5%	2.8	0.4%	739.9	5.3		
	20	7.2	0.9%	702.9	87.5%	90.2	11.2%	2.9	0.4%	803.2	6.1		
10 桑江	19	0.3	0.1%	375.6	94.9%	19.0	4.8%	0.8	0.2%	395.8	0.9		
	20	0.9	0.2%	380.9	93.3%	26.1	6.4%	0.4	0.1%	408.3	0.5		
11 山内	19	2.1	0.5%	370.7	93.9%	21.2	5.4%	0.7	0.2%	394.8	1.8		
	20	0.9	0.3%	332.4	93.4%	22.3	6.3%	0.2	0.0%	355.8	0.3		
12 知花	19	23.1	2.2%	944.8	89.1%	85.8	8.1%	6.4	0.5%	1060.1	17.2		
	20	26.9	1.9%	1218.2	86.2%	160.3	11.3%	7.4	0.5%	1412.8	19.4		
13 嘉手納	19	152.8	9.6%	1205.2	75.5%	168.9	10.6%	69.2	4.3%	1596.1	186.4		
	20	263.0	13.3%	1351.0	68.5%	219.8	11.1%	137.7	7.0%	1971.4	361.5		
14 兼久	19	39.8	2.8%	1224.0	85.4%	142.3	9.9%	27.5	1.9%	1433.6	51.3		
	20	41.4	3.0%	1202.5	86.4%	122.2	8.8%	25.3	1.8%	1391.4	51.4		
15 屋良B	19	199.0	7.2%	2209.3	79.7%	278.2	10.0%	86.6	3.1%	2773.2	238.6		
	20	226.5	6.8%	2638.9	78.7%	390.0	11.6%	97.8	2.9%	3353.2	278.7		

※本表における時間帯別月平均騒音発生回数の算出方法

$$\text{観測された時間帯別騒音発生回数の年間合計 (回/年)} \times \frac{365 \text{ (日/年)}}{\text{観測日数 (日/年)}} \div 12 \text{ (月/年)}$$

表4 環境基準の超過日数（嘉手納）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	美原	昆布	上勢	宮城	北美	八重島	屋良A	砂辺	伊良皆	桑江	山内	知花	嘉手納	兼久	屋良B
測定日数	365	365	365	365	365	365	365	365	348	365	365	365	356	363	357
達成日数	86	160	214	302	192	318	106	82	336	283	344	155	54	167	37
超過日数	279	205	151	63	173	47	259	283	12	82	21	210	302	196	320
超過率	76.4%	56.2%	41.4%	17.3%	47.4%	12.9%	71.0%	77.5%	3.4%	22.5%	5.8%	57.5%	84.8%	54.0%	89.6%

注 平成20年度沖縄県文化環境部環境保全課の資料による

ウ 原子力軍艦の寄港状況 <復帰前>

回数	寄港 年月日	艦 船 名 (年別寄港回数・隻数)	排水量 (t)	全 長 (m)	乗 員 (人)	停 泊 時 間	備 考
S43年 (9回 ・ 9隻)							
1	1.5	トライトン	5,940	136.4	107	不 明	那覇港
2	2.21	トライトン	5,940	136.4	107	//	//
3	3.20	ブランジャー	3,750	84.9	107	//	ホワイト・ビーチ
4	3.23	パーミット	3,750	84.9	107	//	那覇港
5	4.27	ソードフィッシュ	2,570	81.6	95	//	//
6	5.15	クィーンフィッシュ	3,750	84.9	107	//	//
7	8.7	パーミット	3,750	84.9	107	//	//
8	8.7	スケート	2,570	81.6	95	//	//
9	9.15	ガードフィッシュ	3,750	84.9	107	//	//
S44年 (9回 ・ 9隻)							
10	2.21	ブランジャー	3,750	84.9	107	不 明	ホワイト・ビーチ
11	3.19	ブランジャー	3,750	84.9	107	//	//
12	4.21	ブランジャー	3,750	84.9	107	//	//
13	4.30	ブランジャー	3,750	84.9	107	//	//
14	8.22	スヌーク	3,075	76.8	93	//	//
15	8.23	ソードフィッシュ	2,570	81.6	95	//	那覇港
16	10.2	サーゴ	2,570	81.6	95	//	ホワイト・ビーチ
17	10.13	サーゴ	2,570	81.6	95	//	//
18	11.21	スヌーク	3,075	76.8	93	//	//
S45年 (15回 ・ 15隻)							
19	1.8	ガーナード	4,250	89.0	107	1 時間	ホワイト・ビーチ
20	2.19	ガーナード	4,250	89.0	107	30 分	//
21	3.6	スカルピン	3,075	76.8	93	不 明	//
22	3.12	スカルピン	3,075	76.8	93	//	//
23	5.10	パーミット	3,075	84.9	107	//	//
24	5.17	パーミット	3,075	84.9	107	2 時間	//
25	5.22	スカルピン	3,075	76.8	93	不 明	//
26	5.27	スカルピン	3,075	76.8	93	//	//
27	5.28	スカルピン	3,075	76.8	93	//	//
28	7.13	スカルピン	3,075	76.8	93	//	//
29	7.21	ハドック	3,750	84.9	107	//	//
30	9.30	アスプロ	4,250	89.0	107	//	//
31	10.5	ハドック	3,750	84.9	107	//	//
32	10.23	トートック	4,250	89.0	不明	//	//
33	11.9	アスプロ	4,250	89.0	107	//	//
S46年 (16回 ・ 16隻)							
34	1.30	スヌーク	3,075	76.8	93	1 時間	ホワイト・ビーチ
35	2.3	トートック	4,250	89.0	107	不 明	//
36	2.3	スヌーク	3,075	76.8	93	//	//
37	2.7	スヌーク	3,075	76.8	93	//	//
38	2.17	スヌーク	3,075	76.8	93	//	//
39	2.26	スヌーク	3,075	76.8	93	//	//
40	4.6	ソードフィッシュ	2,570	81.6	95	65時間 40 分	//
41	4.29	スヌーク	3,075	76.8	93	2~3 時間	//
42	5.10	ソードフィッシュ	2,570	81.6	95	//	//
43	6.23	ソードフィッシュ	2,570	81.6	95	不 明	//
44	8.7	パファー	4,250	89.0	107	//	//
45	8.13	パファー	4,250	89.0	107	//	//
46	10.17	スキャンプ	3,075	76.8	93	//	//
47	11.12	ガーナード	4,250	89.0	107	2 日	//
48	12.5	ガーナード	4,250	89.0	107	2 日	//
49	12.6	クィーンフィッシュ	3,750	84.9	107	2 日	//
S47年 (7回 ・ 7隻)							
50	1.22	フラッシャー	3,800	89.1	107	2~3 時間	ホワイト・ビーチ
51	1.24	フラッシャー	3,800	89.1	107	1~2 時間	//
52	1.26	フラッシャー	3,800	89.1	107	不 明	//
53	1.30	フラッシャー	3,800	89.1	107	//	//
54	2.1	フラッシャー	3,800	89.1	107	4 日	//
55	2.8	フラッシャー	3,800	89.1	107	不 明	//
56	2.12	フラッシャー	3,800	89.1	107	30 分	//

＜復帰後＞		(寄港地：ホワイト・ビーチ地区)					
回数	寄港 年月日	艦 船 名 (年別寄港回数・隻数)	排水量 (t)	全 長 (m)	乗 員 (人)	停 泊 時 間	備 考
		S47年	(7回 ・ 7隻)				
1	6.19	フラッシャー	3,800	89.1	107	約 1時間	
2	8.1	ボギー	4,250	89.0	120	20分	
3	8.20	ガーナード	4,250	89.0	107	2時間 27分	
4	8.21	ホークビル	4,250	89.0	107	1時間 17分	
5	10.13	ボギー	4,250	89.0	120	13分	
6	10.18	ボギー	4,250	89.0	120	7分	
7	10.22	ボギー	4,250	89.0	120	6分	
		S48年	(3回 ・ 3隻)				
8	1.4	ピンタード	4,250	89.0	107	54分	
9	2.11	パファー	4,250	89.0	107	24分	
10	10.2	ガードフィッシュ	3,750	84.9	107	8分	
		S51年	(1回 ・ 1隻)				
11	9.4	スキャンブ	3,075	76.8	93	4日	
		S52年	(1回 ・ 1隻)				
12	4.4	ハーブ	3,750	84.9	121	15分	
		S54年	(1回 ・ 1隻)				
13	10.2	ピンタード	4,250	89.0	116	約 15分	
		S55年	(5回 ・ 5隻)				
14	3.9	アスプロ	4,250	89.0	107	3日	
15	3.16	アスプロ	4,250	89.0	107	22分	
16	3.16	ロングビーチ	14,200	219.9	1,045	2日	巡洋艦
17	3.21	ロングビーチ	14,200	219.9	1,045	2日	巡洋艦
18	9.9	トートッグ	4,250	89.0	117	11分	
		S56年	(1回 ・ 1隻)				
19	1.19	クイーンフィッシュ	4,250	89.0	119	約 15分	
		S61年	(3回 ・ 3隻)				
20	8.19	タニー	4,460	92.1	130	10時間 55分	
21	11.26	サンフランシスコ	6,000	109.7	130	4日	
22	11.30	サンフランシスコ	6,000	109.7	130	44分	
		S62年	(10回 ・ 10隻)				
23	3.6	ヒューストン	6,000	109.7	130	35分	
24	4.28	ヒューストン	6,000	109.7	130	35分	
25	5.7	ポーツマス	6,000	109.7	130	15分	
26	7.14	ポーツマス	6,000	109.7	130	15分	
27	7.15	ポーツマス	6,000	109.7	130	3分	
28	8.5	バッファロー	6,000	109.7	130	16分	
29	8.10	バッファロー	6,000	109.7	130	9分	
30	9.29	パーミット	3,750	84.9	130	24分	
31	11.28	フラッシャー	3,800	89.1	130	15分	
32	12.10	ボギー	4,250	89.0	130	5分	
		S63年	(11回 ・ 11隻)				
33	1.29	フラッシャー	3,800	89.1	130	10分	
34	2.19	ソルトレイクシティ	6,000	109.7	130	4日	
35	3.18	ホークビル	4,250	89.0	130	17分	
36	3.21	ソルトレイクシティ	6,000	109.7	130	12分	
37	4.25	オマハ	6,000	109.7	130	3日	接岸
38	4.26	ガーナード	4,250	89.0	130	12分	沖合停泊
39	6.9	ガーナード	4,250	89.0	130	7分	沖合停泊
40	6.10	ガーナード	4,250	89.0	130	17分	沖合停泊
41	6.11	ガーナード	4,250	89.0	130	7分	沖合停泊
42	7.21	ブランジャー	3,750	84.9	130	2日	接岸
43	11.6	ガードフィッシュ	3,750	84.9	130	5分	沖合停泊
		H元年	(3回 ・ 3隻)				
44	1.9	ロサンゼルス	6,000	109.7	130	4日	接岸
45	4.18	ルイヴィル	6,000	109.7	130	22分	沖合停泊
46	4.19	ルイヴィル	6,000	109.7	130	19分	沖合停泊
		H2年	(9回 ・ 9隻)				
47	1.17	ハドック	3,750	84.9	130	3日	接岸
48	1.22	ハドック	3,750	84.9	130	1時間 45分	接岸
49	2.19	パファー	4,250	89.0	107	4分	沖合停泊
50	2.25	オマハ	6,000	109.7	130	44分	接岸

回数	寄 港 年月日	艦 船 名 (年別寄港回数・隻数)	排水量 (t)	全 長 (m)	乗 員 (人)	停 泊 時 間	備 考
51	2.28	ソルトレイクシティ	6,000	109.7	130	10 分	沖合停泊
52	2.28	オマハ	6,000	109.7	130	17 分	沖合停泊
53	5.17	ガードフィッシュ	3,750	84.9	130	3 日	接岸
54	5.23	ガードフィッシュ	3,750	84.9	130	3 日	接岸
55	5.27	ガードフィッシュ	3,750	84.9	130	5時間 28 分	接岸
	H3年	(4回・4隻)					
56	5.25	ガーナード	4,250	89.0	130	14 分	沖合停泊
57	6.17	ホノルル	6,000	109.7	130	23 分	沖合停泊
58	10.5	パファー	4,250	89.0	130	8 分	沖合停泊
59	11.30	ニューヨークシティ	6,000	109.7	130	28 分	沖合停泊
	H4年	(7回・7隻)					
60	1.11	サンフランシスコ	6,000	109.7	130	9 分	沖合停泊
61	1.27	インディアナポリス	6,000	109.7	130	96時間	接岸
62	3.17	インディアナポリス	6,000	109.7	130	51 分	沖合停泊
63	3.18	インディアナポリス	6,000	109.7	130	66時間	接岸
64	3.21	インディアナポリス	6,000	109.7	130	1時間 25 分	沖合停泊
65	5.25	ドラム	4,250	89.0	130	43 分	沖合停泊
66	6.6	トートック	4,250	89.0	130	1時間	沖合停泊
	H5年	(17回・17隻)					
67	2.1	ヒューストン	6,000	109.7	130	70時間	接岸
68	2.26	ボギー	4,250	89.0	130	31時間 55 分	沖合停泊
69	3.26	ガーナード	4,250	89.0	130	69時間 47 分	接岸
70	3.29	ガーナード	4,250	89.0	130	26時間 42 分	接岸
71	4.30	ガーナード	4,250	89.0	130	45 分	沖合停泊
72	5.12	ボギー	4,250	89.0	130	7 分	沖合停泊
73	5.23	ボギー	4,250	89.0	130	2時間 21 分	沖合停泊
74	5.26	キャバラ	4,460	92.1	130	52時間 32 分	接岸
75	5.29	ガーナード	4,250	89.0	130	19 分	沖合停泊
76	6.7	ガーナード	4,250	89.0	130	8 分	沖合停泊
77	7.3	ホークビル	4,250	89.0	130	20 分	沖合停泊
78	7.15	キャバラ	4,460	92.1	130	47時間 2 分	接岸
79	7.18	キャバラ	4,460	92.1	130	21 分	沖合停泊
80	7.20	キャバラ	4,460	92.1	130	45 分	沖合停泊
81	9.29	プレマートン	6,000	109.7	130	19 分	沖合停泊
82	10.15	ホークビル	4,250	89.0	130	22 分	沖合停泊
83	12.10	ニューヨークシティ	6,000	109.7	130	147時間 20 分	接岸
	H6年	(18回・18隻)					
84	3.12	シカゴ	6,000	109.7	130	25 分	沖合停泊
85	3.15	シカゴ	6,000	109.7	130	17 分	沖合停泊
86	3.16	シカゴ	6,000	109.7	130	39時間 39 分	接岸
87	6.20	オマハ	6,000	109.7	130	23時間 40 分	接岸
88	6.23	オマハ	6,000	109.7	130	2時間 41 分	接岸
89	8.16	ジェファーソンシティ	6,000	109.7	130	1時間 3 分	沖合停泊
90	9.10	ヒューストン	6,000	109.7	130	8 分	沖合停泊
91	10.4	ジェファーソンシティ	6,000	109.7	130	11 分	沖合停泊
92	10.5	ジェファーソンシティ	6,000	109.7	130	11 分	沖合停泊
93	10.7	ジェファーソンシティ	6,000	109.7	130	25 分	沖合停泊
94	10.8	ジェファーソンシティ	6,000	109.7	130	1時間 24 分	沖合停泊
95	10.9	カルフォルニア	9,561	181.7	603	23時間 41 分	接岸(巡洋艦)
96	10.11	カルフォルニア	9,561	181.7	603	64時間 57 分	沖合停泊
97	10.22	ウィリアム H. ベイツ	4,460	92.1	130	19 分	沖合停泊
98	11.25	パファー	4,250	89.0	130	9 分	沖合停泊
99	11.28	ヒューストン	6,000	109.7	130	23時間 49 分	沖合停泊
100	12.2	ヒューストン	6,000	109.7	130	26時間 3 分	沖合停泊
101	12.23	パファー	4,250	89.0	130	21 分	沖合停泊
	H7年	(7回・7隻)					
102	5.8	オリンピア	6,000	109.7	130	24時間	接岸
103	5.15	オリンピア	6,000	109.7	130	28時間 20 分	接岸
104	5.17	オリンピア	6,000	109.7	130	11 分	沖合停泊
105	6.30	トートック	4,250	92.0	130	27 分	沖合停泊
106	7.5	トートック	4,250	92.0	130	93時間 28 分	接岸
107	9.21	パサデナ	6,000	109.7	130	41 分	沖合停泊

回数	寄 港 年月日	艦 船 名 (年別寄港回数・隻数)	排水量 (t)	全 長 (m)	乗 員 (人)	停 泊 時 間	備 考
108	10.2	ホノルル	6,000	109.7	130	25分	沖合停泊
	H8年	(16回・16隻)					
109	1.17	インディアナポリス	6,000	109.7	130	28時間 53分	接岸
110	1.25	インディアナポリス	6,000	109.7	130	68時間 13分	接岸
111	2.24	アッシュビル	6,000	109.7	130	127時間 20分	接岸
112	5.25	キャバラ	4,460	92.1	130	43時間 8分	接岸
113	5.27	バーミンガム	6,000	109.7	130	1時間 13分	接岸
114	5.31	キャバラ	4,460	92.1	130	24時間 28分	接岸
115	6.13	ピンタード	4,250	89.0	130	95時間 9分	接岸
116	6.25	ピンタード	4,250	89.0	130	6時間 36分	接岸
117	6.28	ピンタード	4,250	89.0	130	24時間 1分	接岸
118	7.3	アッシュビル	6,000	109.7	130	27分	沖合停泊
119	8.5	サンフランシスコ	6,000	109.7	130	10分	沖合停泊
120	9.2	ホークビル	4,250	89.0	130	5時間 36分	接岸
121	9.6	ホークビル	4,250	89.0	130	6時間 42分	接岸
122	9.16	スベードフィッシュ	4,250	89.0	130	5分	沖合停泊
123	11.4	ヒューストン	6,000	109.7	130	140時間 8分	接岸
124	11.6	トピーカ	6,000	109.7	130	45分	沖合停泊
	H9年	(9回・9隻)					
125	2.13	トピーカ	6,000	109.7	130	23分	沖合停泊
126	4.20	インディアナポリス	6,000	109.7	130	48時間	接岸
127	5.3	ホノルル	6,000	109.7	130	8時間	接岸
128	7.21	インディアナポリス	6,000	109.7	130	24時間	接岸
129	7.22	インディアナポリス	6,000	109.7	130	5分	沖合停泊
130	7.25	インディアナポリス	6,000	109.7	130	72時間	接岸
131	7.29	インディアナポリス	6,000	109.7	130	5分	沖合停泊
132	7.31	インディアナポリス	6,000	109.7	130	28時間	接岸
133	8.25	キー・ウエスト	6,000	109.7	130	21時間	接岸
	H10年	(8回・8隻)					
134	5.15	ヒューストン	6,000	109.7	130	2時間 9分	接岸
135	5.20	アッシュビル	6,000	109.7	130	2時間 24分	接岸
136	7.7	ジェファーソンシティ	6,000	109.7	130	18時間 41分	接岸
137	7.17	ジェファーソンシティ	6,000	109.7	130	72時間	接岸
138	9.12	コロンビア	6,000	109.7	130	29分	沖合停泊
139	9.21	ソルトレイクシティ	6,000	109.7	130	14分	沖合停泊
140	12.9	ルイヴィル	6,000	109.7	130	6分	沖合停泊
141	12.20	グリーンビル	6,000	109.7	130	30分	沖合停泊
	H11年	(13回・13隻)					
142	4.21	ホノルル	6,000	109.7	130	79時間 18分	接岸
143	6.14	ウイリアム H. バイ	4,460	92.1	130	40分	沖合停泊
144	6.28	サンタフェ	6,000	109.7	130	1時間 8分	沖合停泊
145	6.28	カメハメハ	7,250	129.5	130	46時間 26分	接岸
146	7.2	カメハメハ	7,250	129.5	130	71時間 46分	接岸
147	7.17	ロサンゼルス	6,000	109.7	130	16時間 6分	接岸
148	7.22	カメハメハ	7,250	129.5	130	83時間 9分	接岸
149	8.27	バッファロー	6,000	109.7	130	72時間 17分	接岸
150	9.10	バッファロー	6,000	109.7	130	119時間 49分	接岸
151	10.1	パサデナ	6,000	109.7	130	13分	沖合停泊
152	11.1	サンタフェ	6,000	109.7	130	49時間 4分	接岸
153	11.19	ブレマートン	6,000	109.7	130	8分	沖合停泊
154	12.6	ブレマートン	6,000	109.7	130	14分	沖合停泊
	H12年	(10回・10隻)					
155	1.6	シャルロット	6,000	109.7	130	16分	沖合停泊
156	2.26	トピーカ	6,000	109.7	130	119時間 39分	接岸
157	3.13	ジェファーソンシティ	6,000	109.7	130	53時間 2分	接岸
158	5.23	シャルロット	6,000	109.7	130	28分	沖合停泊
159	7.28	ヒューストン	6,000	109.7	130	32分	沖合停泊
160	7.30	コロンブス	6,000	109.7	130	47時間 39分	接岸
161	8.10	コロンブス	6,000	109.7	130	23時間 48分	接岸
162	8.16	ヒューストン	6,000	109.7	130	23時間 36分	接岸
163	9.15	ツーソン	6,000	109.7	130	16分	沖合停泊
164	9.28	コロンブス	6,000	109.7	130	17分	沖合停泊

回数	寄 港 年月日	艦 船 名 (年別寄港回数・隻数)	排水量 (t)	全 長 (m)	乗 員 (人)	停 泊 時 間	備 考
H13年 (12回 ・ 12隻)							
165	1.25	ルイヴィル	6,000	109.7	130	34 分	沖合停泊
166	1.26	ホノルル	6,000	109.7	130	30 分	沖合停泊
167	2. 4	ルイヴィル	6,000	109.7	130	47時間 32 分	接岸
168	2.19	ホノルル	6,000	109.7	130	36 分	沖合停泊
169	3.28	ルイヴィル	6,000	109.7	130	10 分	沖合停泊
170	4. 5	ロサンゼルス	6,000	109.7	130	121時間 43 分	接岸
171	4.30	ロサンゼルス	6,000	109.7	130	163時間 10 分	接岸
172	7.16	シカゴ	6,000	109.7	130	29時間 35 分	接岸
173	7.23	バッファロー	6,000	109.7	130	25時間 11 分	接岸
174	8. 1	バッファロー	6,000	109.7	130	16 分	沖合停泊
175	8.13	オリンピア	6,000	109.7	130	119時間 40 分	接岸
176	11. 4	ブレマートン	6,000	109.7	130	20時間 42 分	接岸
H14年 (17回 ・ 17隻)							
177	1.24	ジェファーソンシティ	6,000	109.7	130	21時間 50 分	接岸
178	2.24	コロンブス	6,000	109.7	130	12 分	沖合停泊
179	4.10	シャルロット	6,000	109.7	130	3 分	沖合停泊
180	4.19	ジェファーソンシティ	6,000	109.7	130	11 分	沖合停泊
181	4.24	シャルロット	6,000	109.7	130	1時間 16 分	沖合停泊
182	4.28	コロンブス	6,000	109.7	130	39 分	沖合停泊
183	5. 8	ラ・ホヤ	6,000	109.7	130	17 分	沖合停泊
184	5.23	シャルロット	6,000	109.7	130	40 分	沖合停泊
185	5.27	ラ・ホヤ	6,000	109.7	130	14 分	沖合停泊
186	6. 3	ツーソン	6,000	109.7	130	51時間 55 分	接岸
187	6. 5	ラ・ホヤ	6,000	109.7	130	97時間 36 分	接岸
188	6.27	ツーソン	6,000	109.7	130	13 分	沖合停泊
189	7.17	シャルロット	6,000	109.7	130	14 分	沖合停泊
190	8.19	シャイアン	6,000	109.7	130	8時間 31 分	接岸
191	9.20	ヘレナ	6,000	109.7	130	119時間 28 分	接岸
192	10.15	ルイヴィル	6,000	109.7	130	96時間	接岸
193	12. 9	シャイアン	6,000	109.7	130	49時間 8 分	接岸
H15年 (12回 ・ 12隻)							
194	7.16	オリンピア	6,000	109.7	130	293時間 55 分	接岸
195	7.17	ロサンゼルス	6,000	109.7	130	12 分	沖合停泊
196	8.15	ヘレナ	6,000	109.7	130	9 分	沖合停泊
197	9.25	サンフランシスコ	6,000	109.7	130	49時間 29 分	接岸
198	9.27	サンタフェ	6,000	109.7	130	44時間 54 分	接岸
199	10. 1	オリンピア	6,000	109.7	130	26時間 2 分	接岸
200	10. 4	サンフランシスコ	6,000	109.7	130	41 分	沖合停泊
201	10. 5	サンフランシスコ	6,000	109.7	130	20 分	沖合停泊
202	10. 7	ヘレナ	6,000	109.7	130	4 分	沖合停泊
203	10. 8	サンフランシスコ	6,000	109.7	130	23 分	沖合停泊
204	11. 6	コロンブス	6,000	109.7	130	10 分	沖合停泊
205	11.16	サンタフェ	6,000	109.7	130	10 分	沖合停泊
H16年 (17回 ・ 17隻)							
206	3.25	コロンビア	6,000	109.7	130	10 分	沖合停泊
207	3.29	シティ オブ コーバ スクリスティ	6,000	109.7	130	12 分	沖合停泊
208	4. 6	ラ・ホヤ	6,000	109.7	130	8 分	沖合停泊
209	6.10	ツーソン	6,000	109.7	143	14 分	沖合停泊
210	6.23	ソルトレイクシティ	6,000	109.7	143	5 分	沖合停泊
211	7. 9	ホノルル	6,000	109.7	130	20 分	沖合停泊
212	7.21	アレキサンドリア	6,000	109.7	130	20 分	沖合停泊
213	8.13	シティ オブ コーバ スクリスティ	6,000	109.7	130	6 分	沖合停泊
214	8.16	サンフランシスコ	6,000	109.7	130	8 分	沖合停泊
215	8.19	シティ オブ コーバ スクリスティ	6,000	109.7	130	10 分	沖合停泊
216	8.20	シティ オブ コーバ スクリスティ	6,000	109.7	130	8 分	沖合停泊
217	10.28	シャイアン	6,000	109.7	140	21時間 5 分	接岸
218	10.28	ツーソン	6,000	109.7	138	25 分	沖合停泊
219	11. 9	シャイアン	8,060	109.7	138	15 分	沖合停泊
220	11. 9	アッシュビル	6,000	109.7	138	21 分	沖合停泊
221	11.10	ツーソン	6,000	109.7	142	25 分	沖合停泊
222	11.23	シャルロット	6,000	109.7	135	11 分	沖合停泊

回数	寄港 年月日	艦船名 (年別寄港回数・隻数)	排水量 (t)	全長 (m)	乗員 (人)	停泊時間	備考
H17年 (16回・16隻)							
223	1.25	シャイアン	6,000	109.7	138	21分	沖合停泊
224	2. 5	ロサンゼルス	6,000	109.7	138	67時間 15分	接岸
225	3.15	オリンピア	6,000	109.7	138	9分	沖合停泊
226	4.14	ロサンゼルス	6,000	109.7	138	19分	沖合停泊
227	4.18	ロサンゼルス	6,000	109.7	138	12分	沖合停泊
228	5.29	シャルロット	6,000	109.7	138	21分	沖合停泊
229	6.12	シャルロット	6,000	109.7	138	14分	沖合停泊
230	7. 2	ヘレナ	6,000	109.7	138	14分	沖合停泊
231	7. 6	パサデナ	6,000	109.7	138	23時間 54分	接岸
232	8. 2	パサデナ	6,000	109.7	138	45分	沖合停泊
233	8.13	キー・ウェスト	6,000	109.7	138	4時間 41分	接岸
234	8.15	パサデナ	6,000	109.7	138	10分	沖合停泊
235	9.13	キー・ウェスト	6,000	109.7	138	6時間 4分	接岸
236	9.19	ルイヴィル	6,000	109.7	138	19分	沖合停泊
237	12. 2	シティ オブ コーバ スクリスティ	6,000	109.7	138	30分	沖合停泊
238	12. 8	サンタフェ	6,000	109.7	138	24時間 9分	接岸
H18年 (16回・16隻)							
239	1.23	サンタフェ	6,000	109.7	138	31分	沖合停泊
240	3.15	トピーカ	6,000	109.7	138	70時間 50分	接岸
241	6.15	ルイヴィル	6,000	109.7	138	93時間 3分	接岸
242	7.12	ホノルル	6,000	109.7	138	0分	湾内通過
243	7.15	ホノルル	6,000	109.7	138	78時間 12分	接岸
244	7.27	ツーソン	6,000	109.7	138	14分	接岸
245	8.19	ホノルル	6,000	109.7	138	21分	沖合停泊
246	11. 1	アッシュヴィル	6,000	109.7	138	22分	沖合停泊
247	11. 2	シーウルフ	8,060	107.6	138	15分	沖合停泊
248	11. 6	アッシュヴィル	6,000	109.7	138	14分	沖合停泊
249	11. 8	シーウルフ	8,060	107.6	138	18分	沖合停泊
250	11.16	アッシュヴィル	6,000	109.7	138	40分	沖合停泊
251	12. 6	シーウルフ	8,060	107.6	138	15分	沖合停泊
252	12.18	ボイシ	6,000	109.7	138	20分	沖合停泊
253	12.18	プロヴィデンス	6,000	109.7	138	31分	沖合停泊
254	12.21	シーウルフ	8,060	107.6	138	12分	沖合停泊
H19年 (24回・24隻)							
255	1.27	プロヴィデンス	6,000	109.7	138	24分	沖合停泊
256	2.14	プロヴィデンス	6,000	109.7	138	19分	沖合停泊
257	2.19	プロヴィデンス	6,000	109.7	138	122時間 24分	接岸
258	3. 8	プロヴィデンス	6,000	109.7	138	19分	沖合停泊
259	3.17	ヒューストン	6,000	109.7	138	17分	沖合停泊
260	3.23	ヒューストン	6,000	109.7	138	18分	沖合停泊
261	4.11	キー・ウエスト	6,000	109.7	138	49時間 35分	接岸
262	5.21	シティ オブ コーバ スクリスティ	6,000	109.7	138	15分	沖合停泊
263	5.24	ハンプトン	6,000	109.7	138	28分	沖合停泊
264	6. 3	シティ オブ コーバ スクリスティ	6,000	109.7	138	15分	沖合停泊
265	7.28	ハンプトン	6,000	109.7	138	97時間 33分	接岸
266	8.25	ロサンゼルス	6,000	109.7	138	20分	沖合停泊
267	9. 1	ロサンゼルス	6,000	109.7	138	21分	沖合停泊
268	9. 2	ロサンゼルス	6,000	109.7	138	7分	沖合停泊
269	9.14	シャイアン	6,000	109.7	138	14分	沖合停泊
270	9.17	シャイアン	6,000	109.7	138	36分	沖合停泊
271	9.19	シャイアン	6,000	109.7	138	48時間 5分	接岸
272	9.26	シャイアン	6,000	109.7	138	23分	沖合停泊
273	10.15	コネチカット	8,060	107.6	138	20分	沖合停泊
274	12. 3	トピーカ	6,000	109.7	138	96時間 4分	接岸
275	12. 7	ヒューストン	6,000	109.7	138	92時間 6分	接岸
276	12.11	シティ オブ コーバ スクリスティ	6,000	109.7	138	90時間 30分	接岸
277	12.15	ヒューストン	6,000	109.7	138	22分	沖合停泊
278	12.20	パサデナ	6,000	109.7	138	11分	沖合停泊
H20年 (41回・41隻)							
279	1.25	バッファロー	6,000	109.7	138	16分	沖合停泊
280	1.27	パサデナ	6,000	109.7	138	22分	沖合停泊

回数	寄 港 年月日	艦 船 名 (年別寄港回数・隻数)	排水量 (t)	全 長 (m)	乗 員 (人)	停 泊 時 間	備 考
281	1.29	バッファロー	6,000	109.7	138	14 分	沖合停泊
282	1.31	バサデナ	6,000	109.7	138	11 分	沖合停泊
283	2. 8	バサデナ	6,000	109.7	138	29 分	沖合停泊
284	2.12	バサデナ	6,000	109.7	138	30 分	沖合停泊
285	2.14	ヘレナ	6,000	109.7	138	16 分	沖合停泊
286	2.18	ジェファーソンシティ	6,000	109.7	138	3時間 13 分	接岸
287	2.20	トピーカ	6,000	109.7	138	6 分	沖合停泊
288	2.26	トピーカ	6,000	109.7	138	18 分	沖合停泊
289	3. 1	トピーカ	6,000	109.7	138	28 分	沖合停泊
290	3. 3	バッファロー	6,000	109.7	138	18 分	沖合停泊
291	3.12	バサデナ	6,000	109.7	138	51時間 55 分	接岸
292	3.12	ヒューストン	6,000	109.7	138	24 分	沖合停泊
293	4. 2	ヘレナ	6,000	109.7	138	72時間 17 分	接岸
294	4.19	ヘレナ	6,000	109.7	138	25 分	沖合停泊
295	4.26	コロンプス	6,000	109.7	138	16 分	沖合停泊
296	4.30	コロンプス	6,000	109.7	138	20 分	沖合停泊
297	5.13	ラ・ホヤ	6,000	109.7	138	77時間 14 分	接岸
298	6. 2	ヘレナ	6,000	109.7	138	14 分	沖合停泊
299	6. 6	ヘレナ	6,000	109.7	138	24 分	沖合停泊
300	6.20	アッシュビル	6,000	109.7	138	23 分	沖合停泊
301	6.26	アッシュビル	6,000	109.7	138	15 分	沖合停泊
302	7.22	アッシュビル	6,000	109.7	138	190時間 36 分	接岸
303	7.26	プロヴィデンス	6,000	109.7	138	11 分	沖合停泊
304	7.28	ラ・ホヤ	6,000	109.7	138	27 分	沖合停泊
305	8.13	コロンプス	6,000	109.7	138	123時間 42 分	接岸
306	9. 6	シティ オブ コーバスクリスティ	6,000	109.7	138	30 分	沖合停泊
307	9.20	アッシュビル	6,000	109.7	138	12 分	沖合停泊
308	9.24	アッシュビル	6,000	109.7	138	18 分	沖合停泊
309	10.31	ブレマートン	6,000	109.7	138	215時間 58 分	接岸
310	11.10	プロヴィデンス	6,000	109.7	138	不 明	沖合停泊
311	11.10	ハンプトン	6,000	109.7	138	21 分	沖合停泊
312	11.12	ハンプトン	6,000	109.7	138	19 分	沖合停泊
313	11.12	オハイオ	16,764	170.7	158	18 分	沖合停泊
314	11.14	オハイオ	16,764	170.7	158	16 分	沖合停泊
315	11.19	ハンプトン	6,000	109.7	138	21 分	沖合停泊
316	12. 2	ブレマートン	6,000	109.7	138	48 分	沖合停泊
317	12. 8	ブレマートン	6,000	109.7	138	13 分	沖合停泊
318	12.11	ハンプトン	6,000	109.7	138	11 分	沖合停泊
319	12.16	ハンプトン	6,000	109.7	138	29 分	沖合停泊
	H21年	(32回・32隻)					
320	1. 5	ミシガン	16,764	170.7	158	28 分	沖合停泊
321	1.11	ミシガン	16,764	170.7	158	22 分	沖合停泊
322	2. 2	シーウルフ	8,060	107.6	138	22 分	沖合停泊
323	2. 5	シーウルフ	8,060	107.6	138	12 分	沖合停泊
324	2.12	ハンプトン	6,000	109.7	138	35 分	沖合停泊
325	2.13	シーウルフ	8,060	107.6	138	15 分	沖合停泊
326	5. 3	シーウルフ	8,060	107.6	138	12 分	沖合停泊
327	5.24	ミシガン	16,764	170.7	158	18 分	沖合停泊
328	5.25	シャルロット	6,000	109.7	138	171時間 11 分	接岸
329	5.27	ミシガン	16,764	170.7	158	12 分	沖合停泊
330	6. 1	シカゴ	6,000	109.7	138	18 分	沖合停泊
331	6. 5	シャルロット	6,000	109.7	138	23 分	沖合停泊
332	6. 7	シカゴ	6,000	109.7	138	21 分	沖合停泊
333	6. 7	ロサンゼルス	6,000	109.7	138	12 分	沖合停泊
334	7. 3	ロサンゼルス	6,000	109.7	138	17 分	沖合停泊
335	7. 4	ロサンゼルス	6,000	109.7	138	8 分	沖合停泊
336	7. 6	バサデナ	6,000	109.7	138	19 分	沖合停泊
337	7.10	バサデナ	6,000	109.7	138	22 分	沖合停泊
338	7.27	バサデナ	6,000	109.7	138	15 分	沖合停泊
339	8.26	バサデナ	6,000	109.7	138	10 分	沖合停泊
340	8.27	サンタフェ	6,000	109.7	138	30 分	沖合停泊
341	8.30	サンタフェ	6,000	109.7	138	190時間 25 分	接岸

回数	寄港 年月日	艦船名 (年別寄港回数・隻数)	排水量 (t)	全長 (m)	乗員 (人)	停泊時間	備考
342	9.5	オハイオ	16,764	170.7	158	29分	沖合停泊
343	9.12	サンタフェ	6,000	109.7	138	48時間 00分	接岸
344	10.13	ヒューストン	6,000	109.7	138	13分	沖合停泊
345	10.17	ヒューストン	6,000	109.7	138	19分	沖合停泊
346	10.30	ミシガン	16,764	170.7	158	22分	沖合停泊
347	11.4	シティ オブ コーバ スクリスティ	6,000	109.7	138	99時間 43分	接岸
348	11.9	コネチカット	7,460	107.6	138	24分	沖合停泊
349	11.18	コネチカット	7,460	107.6	138	31分	沖合停泊
350	11.19	コネチカット	7,460	107.6	138	11分	沖合停泊
351	12.11	コロンブス	6,000	109.7	138	28分	沖合停泊

資料：沖縄県知事公室基地対策課
「沖縄の米軍及び自衛隊基地（統計資料集）」

【基地内に郵便物を送るには？】

豆知識

米軍基地内の個人及び企業・団体（米軍関係機関を含む）においては、日本でいう私書箱をもっており、その私書箱宛に郵便を送付することになります。

表記の方法については、嘉手納基地内を例にとると、

「Kadena AB, Okinawa, Japan
P S C 12 BOX34567
A P O A P 12345-6789」

となります。

「Kadena AB」は「嘉手納基地（エアベース）」を、「PSC」は「郵便局（Postal Service Center）」を意味するもので、「BOX」は「私書箱」に相当するものです。

「APO AP（又は FPO AP）」は「米軍軍事郵便局」の意味で、「APO AP」が陸軍又は空軍宛て、「FPO AP」が海軍又は海兵隊宛てとなり、「12345-6789」は「ZIPコード」と呼ばれる、郵便番号に相当するものです。

ここで注意していただきたいのは、上記の宛先に、例えば「沖縄県 嘉手納町 米軍嘉手納基地内」と日本語で付け加えておくことです。この表記がなくても、APO AP番号、及びPSC・BOX番号があれば配達先を探すことが可能な場合もあります。

注：各数字は、参考のためのものです。

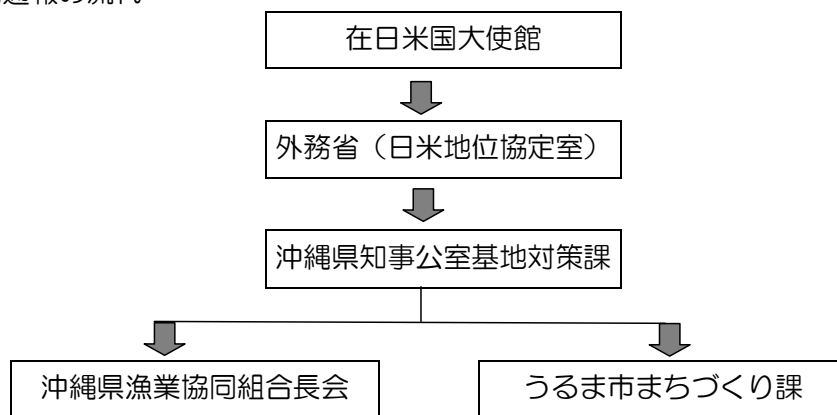
エ 原子力軍艦寄港に関する通報体制について

原子力軍艦の寄港については「合衆国海軍は、通常、受入国政府の当局に対し、少なくとも24時間前に、その原子力軍艦の到着予定時刻及び碇泊又は投錨の予定位置につき通報する。」ことになっている。

ホワイトビーチ地区へ寄港する米国原子力軍艦に起因する放射能漏れの応急措置については、沖縄県地域防災計画において「放射能災害応急対策計画」が新設され、原子力軍艦災害対策の実施機関、非常時の通報、応急措置及び米軍との連携などの「原子力軍艦災害対策」が規定されている。

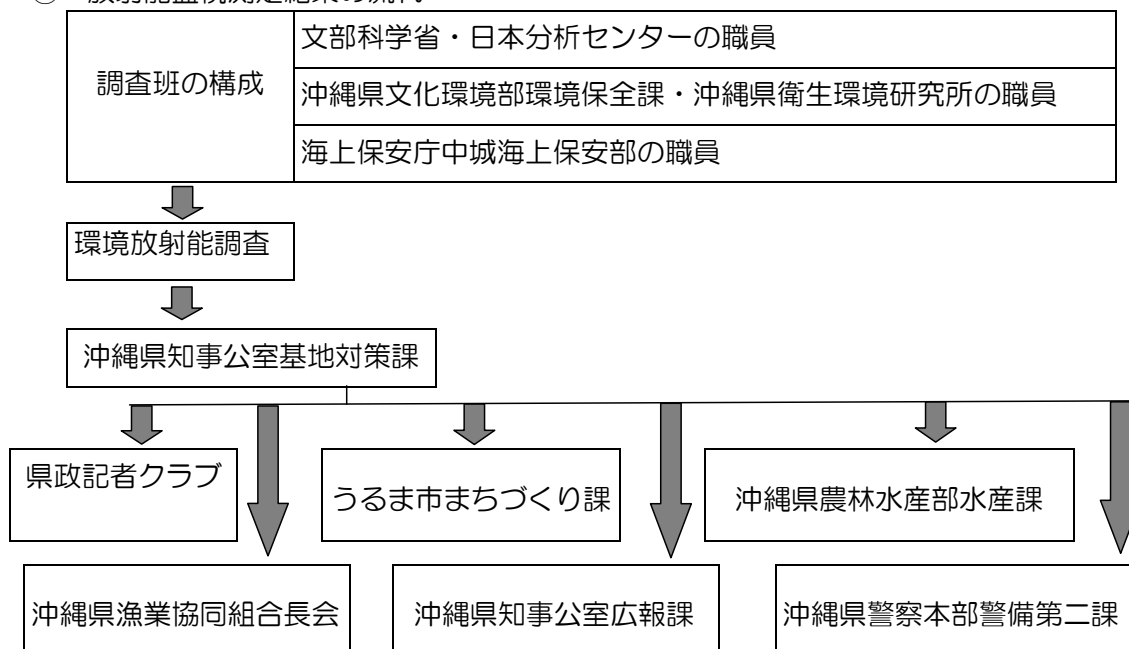
うるま市地域防災計画においても「原子力災害応急対策計画」が定められ、組織体制、応急措置、災害情報の収集・連絡等について規定されている。

① 寄港通報の流れ



※寄港通報については、平成13年9月に米国で発生した同時多発テロへの対応として、当面の間、公表を控えて頂きたい旨の国の要請を受け、平成13年9月21日以来、マスコミ等への公表を控えている。

② 放射能監視測定結果の流れ



資料：沖縄県知事公室基地対策課
「沖縄の米軍基地」

オ 米軍構成員等の犯罪検挙状況（沖縄県内）

各年12月末現在

年件数 人数犯罪別	平成11年		平成12年		平成13年		平成14年		平成15年		平成16年		平成17年		平成18年		平成19年		平成20年	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
凶悪犯	3	4	4	4	4	4	2	4	7	12	1	1	2	4	3	5	6	6	7	13
粗暴犯	7	7	6	7	6	7	11	10	11	13	12	11	7	7	10	12	2	3	5	6
窃盗犯	22	31	26	38	37	41	41	45	48	62	23	29	28	28	21	27	27	25	14	15
知能犯	2	4	-	-	5	3	4	7	11	8	3	5	7	5	9	5	14	3	20	5
風俗犯	1	1	3	2	2	2	2	2	4	4	4	3	1	1	-	-	-	-	1	1
その他	13	12	14	16	16	15	21	32	31	34	16	23	21	20	14	14	14	9	23	23
総数	48	59	53	67	70	72	81	100	112	133	59	72	66	65	57	63	63	46	70	63

資料：犯罪統計書（沖縄県警察本部）

カ 米軍構成員等の犯罪検挙状況（うるま署（旧具志川署）管内）

各年12月末現在

年件数 人数犯罪別	平成11年		平成12年		平成13年		平成14年		平成15年		平成16年		平成17年		平成18年		平成19年		平成20年	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
凶悪犯	-	-	-	-	-	-	1	1	2	3	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
粗暴犯	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
窃盗犯	-	-	-	-	-	-	2	2	4	2	-	-	6	3	-	-	-	-	-	-
知能犯	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風俗犯	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	1	1	-	-	-	-	1	2	-	-	1	-	1	-	-	-	1	2
総数	0	0	1	1	0	0	3	3	7	7	0	0	7	3	2	2	1	1	1	2

資料：犯罪統計書（沖縄県警察本部）

※ 石川署管内は、他町村（金武町・恩納村・宜野座村）も含むため、うるま市内の集計資料に含めていない。

キ ジェット機墜落事故

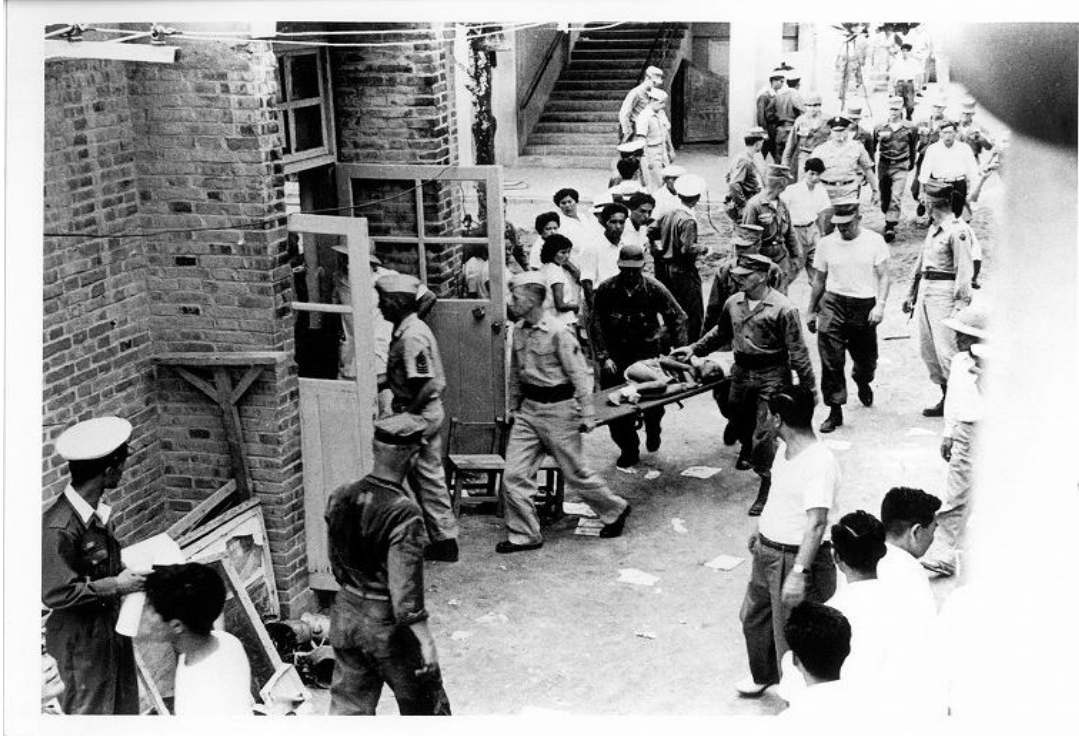
昭和34年（1959年）6月30日午前10時30分、訓練中の嘉手納空軍所属のジェット戦闘機が宮森小学校に墜落、死者17人（内学童11人）、重軽傷者210人（内学童156人）、財産損壊65件の甚大な被害をもたらした。



二階校舎の生々しい被害状況 昭和34年（1959） 上



墜落現場（旧6区）市民総出で救援活動に当たっている。 昭和34年（1959）下



大火傷をして担架で救急室に運ばれる児童の痛々しい姿 昭和34年（1959）



犠牲者の合同慰霊祭 宮森小学校 17柱 昭和34年（1959）7月27日

ク うるま市の主な基地被害状況

発生年月日	関連施設名	被害を受けた地域	事件事故の種類	概要
昭和30年 9月3日		石川市	幼女誘拐・ 暴行・殺人	幼女が誘拐暴行され、殺害される。
昭和34年 6月30日		石川市	墜落事故	宮森小学校に米軍ジェット機が墜落。死者17名(学童11人)、人身傷害210名(学童156人)、財産損害65件の被害をもたらす。
昭和36年 5月	キャンプ・コートニー	川崎	墜落事故	川崎小学校近くにヘリコプターが墜落、死者2人、重傷5人
昭和36年 12月7日	嘉手納飛行場	川崎	墜落事故	ジェット戦闘機が川崎に墜落し爆発する。死者2人、重傷4人の被害を出す。
昭和42年 8月		栄野比	ひき逃げ	米軍人の運転する車両が前原高等学校生をひき逃げする事件が起こる。
昭和42年 11月	嘉手納飛行場	栄野比	墜落事故	ジェット戦闘機が栄野比地内に墜落
昭和45年 5月	平良川通信所	上江洲	殺傷事件	白昼、米軍人による前原高等学校女子生徒暴行殺傷事件
昭和46年 1～8月	天願棧橋	昆布	毒ガス移送	嘉手納弾薬庫地区から毒ガスを移送、天願棧橋からジョンストン島へ運び出される。
昭和49年 2月12日	キャンプ・コートニー	昆布	廃油による 河川の汚染	キャンプ・コートニーのモータープールから多量の廃油が流出し、天願川を汚染した。
昭和51年 7月7日	天願棧橋		海域汚染	棧橋に停泊している米海軍のチャーター船から多量の煤燼が排出、金武湾一帯の海域を汚染した。
昭和51年 9月18日	陸軍貯油施設	昆布	油及び廃液 の流出	9月18日から20日にわたって天願タンクファーム内から油及びパイプライン洗浄液の流出事故が発生した。事故原因はパイプの洗浄作業中、廃液を流出させたことと、軍の作業員が貯油タンクの油を油送する際にドレインバルブを締め忘れたまま送油したため油が逆流し、油水分離装置からオーバーフローしたものである。この事故で農作物が被害を受けるとともに天願川が汚染された。
昭和52年 3月8日	普天間飛行場	豊原	緊急着陸	普天間飛行場367軽ヘリ中隊所属UH-1Nヘリコプターが機体の安全確認のため豊原の畑に緊急着陸した。
昭和53年 5月22日	天願棧橋	昆布	弾薬輸送船 で発煙騒ぎ	天願棧橋に停泊中の弾薬輸送船アメリカンライアンス号(11,000t)の第2ハッチから煙が出たとして弾薬の爆発を恐れた日本人従業員が避難するという事件が発生した。
昭和53年 5月26日	キャンプ・コートニー	具志川市～ 宜野湾市	風防ガラス の落下	キャンプ・コートニーから普天間飛行場向け通常連絡のため飛行中の第164海兵隊中型ヘリ中隊所属のヘリコプターの風防ガラスが落下する事故が発生した。
昭和53年 10月18日	普天間飛行場	宇堅	緊急着陸	普天間飛行場所属第36海兵航空群のCH-53輸送用ヘリコプターが尾翼の故障により宇宇堅の天願川下流海岸近くの空地に緊急着陸した。
昭和53年 10月23日	普天間飛行場	宇堅	緊急着陸	普天間飛行場所属第36海兵航空群のヘリコプターが操縦桿の油圧ポンプ圧力低下のため緊急着陸した。

昭和53年 10月23日	普天間飛行場	勝連沖合	部品落下	海上飛行中のCH-46ヘリコプターのドアが、勝連村字南風原の浜屋海岸の沖合約50m地点に落下する事故が発生。
昭和54年 8月20日	陸軍貯油施設	昆布	油流出	陸軍貯油施設90番バルブボックスから油が流出した。
昭和55年 4月25日	普天間飛行場	石川市	ヘリ不時着	沖縄電力石川発電所構内にエンジントラブルの為、普天間飛行場第1海兵航空団所属のヘリが不時着した。
昭和57年 2月24日	嘉手納弾薬庫地区	石川市	空砲発砲	米兵数人が、サトウキビ畑に入り、空砲を発砲。居合わせた市民を驚かせた。
昭和57年 3月27日～ 4月5日	キャンプ・コートニー	天願	冠水被害	施設内排水路の機能低下により、鉄砲水となり農耕地に被害を与えた。
昭和57年 6月29日	嘉手納飛行場	宇堅	燃料補助タンク落下	嘉手納基地所属のファントム機から落下したと見られる燃料補助タンク一基が具志川市宇堅海岸に漂着した。
昭和57年 7月20日	普天間飛行場	志林川	ヘリ不時着	普天間基地所属UH-1Nヘリコプターが志林川の住宅地域に不時着した。
昭和59年 5月～6月	陸軍貯油施設	昆布	汚水流出	施設内油水分離槽からJ燃料洗浄水を市内の天願川へ流出していたもので、BOD36400PPMと非常に汚染度の高いものであった。
昭和60年 3月9日	キャンプ・ハンセン	石川市	農作物被害	大砲を牽引したトラック2台とジープ1台がサトウキビ畑とアマチャズル畑に乗り入れ、農作物に被害を与えた。
昭和61年 6月9日	キャンプ・マクトリアス	川崎 西原	刑務所脱走	キャンプ・マクトリアスの米軍刑務所から白人兵3人が脱走。後日、沖縄市と北中城村で発見、逮捕される。
昭和62年 4月6日	普天間飛行場	平安座	ヘリ不時着	普天間飛行場第361重ヘリ中隊所属のCH-53ヘリコプターが訓練飛行中、計器異常のため与那城村平安座の西公園に不時着した。
昭和62年 6月24日	普天間飛行場	伊計	ヘリ不時着	普天間飛行場所所属のUH-1N指揮連絡用ヘリが飛行中、悪天候のため空地へ不時着した。
平成元年 6月15日	キャンプ・フォスター	栄野比	農作物被害	イモ畑が、米軍車両によって踏み荒らされ、関係機関に何ら通報もないまま現場から逃走した。
平成元年 6月	キャンプ・マクトリアス	川崎	油飛散	施設内建設工事に伴い、パイル打ち重機から油が飛散、周辺住民の車、サッシ、ガラス等に付着し被害を与えた。
平成元年 9月18日	キャンプ・マクトリアス	川崎	赤土汚染	造成工事に伴う赤土が、雨水とともに施設に面した県道に多量に流出した。
平成元年 12月25日	キャンプ・コートニー	宮里 平良川	傷害事件	乗用車に乗った米人3人組がエアガンを発射、オートバイで走行中の男性が左目を負傷した。
平成2年 3月21日	キャンプ・コートニー	天願	火災	米人の子ども達3名の火遊びにより、キビ畑の一部(約2㎡)が燃えるという小火が発生した。
平成2年 4月	キャンプ・コートニー	川崎	交通事故	小学生が外人車両にはねられ負傷した。
平成2年 11月	キャンプ・コートニー	川崎	交通事故	小学生が外人車両に引きずられたが、ランドセルがクッションになったため、ケガはなかった。

平成3年 4月	キャンプ・コートニー	天願	盗難	施設内へ清明祭で墓参りのため立入った際に、骨壺と遺骨が盗まれているのを発見した。
平成3年 11月23日	キャンプ・コートニー	川崎	交通事故	米婦人の運転する乗用車が、小学2年生をはね、負傷させた。
平成3年 12月	キャンプ・マクトリアス	川崎	PCB汚染	キャンプ・マクトリアスで有毒物質PCBの流出事故が発生し、汚染土砂の除去作業に日本人従業員が従事していた。(平成4年3月5日の日米合同委員会で米側が公表)
平成3年	キャンプ・マクトリアス	川崎 西原	投石事件	キャンプ・マクトリアス内より通行中の児童生徒や車両、民家への悪質な投石行為が行われた。
平成4年 1月1日	キャンプ・コートニー	喜屋武	交通事故	米軍人の運転する乗用車が、道路左側に車を止めてタイヤの点検をしていた市民をはね、死亡させた。
平成4年 1月24日	キャンプ瑞慶覧	みどり町	交通事故	米軍人の運転する普通貨物車が、道路横断中の市民をはね、死亡させた。
平成4年 12月7日		石川市	交通事故	米軍人の運転する大型トラックが市民をはね、死亡させた。
平成5年 12月	キャンプ・マクトリアス	西原	野球ボール 飛来事件	キャンプ・マクトリアス内の野球場より飛来したと思われるボールが走行中の車両へ直撃する事故。
平成5年 12月	キャンプ・マクトリアス	川崎	農作物被害	キャンプ・マクトリアス内の米少年らによって施設周辺畑内の農作物をもぎ取るなどの悪質な行為が行われた。
平成6年 5月24日	キャンプ・マクトリアス		投石事件	キャンプ・マクトリアスから、走行中の車に少年が投石。幸い運転手にケガはなかった。
平成6年 6月2日		津堅	施設外訓練	津堅島の提供施設外に米軍ヘリが2回にわたり直陸。農作物に被害を与える。
平成6年 7月7日頃	ホワイト・ビーチ地区		強盗傷害事件	ホワイト・ビーチに寄港した米海軍艦船の乗員による事件(強盗・傷害)が相次いで発生した。
平成6年 12月	キャンプ・コートニー	具志川市内	完全武装 行車	完全武装による行車を市内地で行い、地域住民を不安に陥れた。
平成7年 3月30日	キャンプ・フォスター	宇堅	軍用車両 横転事故	基地隣接部内で米軍大型トレーラーが横転事故を起こした際に、市防災広報無線を破損させた。
平成7年 7月24日	キャンプ・コートニー	天願 宇堅	油流出事故	米軍ハウジングエリア内の空調機器燃料タンクより燃料が漏れ、天願川へ流出した。
平成7年 11月2日	キャンプ・コートニー	天願	油流出	キャンプ・コートニーの家族住宅地域で、タンクとボイラーを結ぶ3本のパイプから、天願川へ軽油が流出した。
平成8年 4月30日	キャンプ瑞慶覧	平安名	無断立入	勝連町の与勝高校で、在沖米海兵隊所属の3人が無断で校内に立入、測量調査を行った。
平成8年 5月		石川市	交通事故	米軍人の運転する普通乗用車が市民をはね、死亡させた。
平成8年 5月27日	キャンプ・シュワブ	天願	飲酒運転 器物破損	米兵の悪質な飲酒運転・暴走行為でガードレールを破損し、天願川へ転落した。

平成8年 7月3日 深夜	キャンプ・コートニー	宇堅 みどり町	ヘリ使用 夜間訓練	深夜、コートニー施設において、ヘリや空砲を使用した特殊訓練が行われ、地域住民を不安に陥れた。
平成8年 8月28日	キャンプ・シールズ	与那城町西原	道路標識等 破損	与那城町西原の県道で、米海軍キャンプ・シールズ所属の15トントラックが、対向車線を超えて歩道に乗り上げ、道路標識と歩道の植え込みをつぶした。
平成8年 8月29日	ホワイト・ビーチ地区	与那城町西原	ボンネット 等破損	与那城町西原の県道で、米軍の5トントラックが重さ1トンのコンテナを落下させ、信号待ちの軽乗用車のボンネットとエンジンの一部を押しつぶした。
平成8年 9月11日		石川	強盗傷害 事件	市内の飲食店に米兵2名が押し入り、女性経営者の顔面を殴打するなどして傷害を負わせ、現金約8千円を強奪する事件が発生。
平成8年 11月5日 午後5時	キャンプ・マクトリアス	西原	投てき	施設内よりプラスチック製の表示板が民間地域へ投てきされる悪質な行為があった。(幸いケガ人なし)
平成9年 5月8日	キャンプ・コートニー キャンプ・マクトリアス	天願	窃盗事件	米人少年が地域商店に侵入してウィスキーを盗む。(同区域は、米少年等が集まり、飲酒・喫煙等を行っており地域住民に不安を与えている。)
平成9年 10月8日	キャンプ・マクトリアス	みどり町	器物破損	米少年少女による個人邸庭への不法侵入と器物破損(門扉)
平成9年 11月	キャンプ・マクトリアス	川崎	投石事件	施設内より、石、ゴルフボールが投げられる等地域住民に不安を与えている。
平成9年 12月25日	キャンプ・コートニー	みどり町	器物破損	米少年少女による万引き(市内靴店よりスポーツシューズが盗まれる。同店では年数回、同様な万引きがあるとのこと)
平成10年 1月13日	キャンプ・コートニー キャンプ・マクトリアス		窃盗事件	市内施設在住の米少年によるタクシー強盗事件が北中城村で発生。
平成10年 1月31日	キャンプ・コートニー	平良川	器物破損	米兵の飲酒運転による信号機の破損。
平成10年 5月9日	キャンプ瑞慶覧	南風原	交通事故	勝連町南風原の県道10号線で、キャンプ・フォスター所属の海兵隊員運転の大型トラックが前にあった車を避けようとして急ブレーキをかけた際に、道路左側にあった雑貨店の日除けや自動販売機、ブロック塀に衝突し破損させた。けが人なし。
平成10年 8月12日	ホワイト・ビーチ地区	平敷屋	爆発事故	ホワイト・ビーチ内で米海軍第7艦隊所属の駆逐艦(クッキング)で爆発事故が発生し、1人死亡、1人重体。艦内の蒸気パイプが破裂したことが原因。
平成11年 1月26日	浮原島訓練場	浮原島	原野火災	浮原島訓練場で原野火災が発生。焼失面積は、約25,000㎡。信号弾による発火。なお、同訓練場での火災は復帰後はじめて。
平成11年 4月12日	キャンプ・コートニー キャンプ・マクトリアス	川崎	飲酒、喫煙	米少年少女がたむろし、飲酒・喫煙等でドンチャン騒ぎを起こし、警察へ通報される。
平成11年 4月13日	キャンプ・コートニー	天願	交通事故	米軍人が道路通行中の自転車に接触し、人身事故を起こす。
平成11年 4月16日	キャンプ・コートニー	宇堅	行軍訓練	同地域内において、米軍による行軍訓練が行われているとの通報が住民よりあった。

平成11年 4月19日	キャンプ・コートニー	基地内	器物破損	キャンプ・コートニー内の墓が、何者かによって荒らされ骨壺や頭部頭蓋骨が散乱。
平成11年 4月21日	キャンプ・マクトリアス	川崎	投石事件	米少年少女らがフェンス沿いを通行中の市民に投石。
平成11年 4月24日	キャンプ・マクトリアス	川崎	投石事件 器物破損	米少年少女による投石で、駐車中の車両がフロントガラスを割られるなどの被害を受ける。
平成11年 4月26日	キャンプ・コートニー	天願	車両事故	外人車両による暴走行為、当て逃げ。
平成11年 6月11日	キャンプ・コートニー キャンプ・マクトリアス	川崎	落書き	市内川崎において、駐車車両と住宅の塀への落書き。
平成11年 7月23日	キャンプ・コートニー キャンプ・マクトリアス	みどり町	花火投げ込み	米少年が民間アパートへ花火を投げ込み逃走。
平成11年 9月1日	キャンプ・コートニー	みどり町	飲酒酩酊	市内居酒屋でキャンプ・コートニー所属の兵隊が酩酊状態で他の客に迷惑をかけた。
平成11年 12月9日	嘉手納弾薬庫地区	石川	不時着	嘉手納エアロクラブのセスナC-172型機が嘉手納飛行場から離陸後、エンジントラブルがあり、嘉手納弾薬庫地区内の道路に不時着した。
平成11年 12月21日	普天間飛行場	浮原島	不時着	普天間基地所属のCH-46型ヘリが水力ポンプの故障のため、浮原島へ不時着した。
平成12年 3月14日	キャンプ・コートニー キャンプ・マクトリアス	みどり町	落書き	米少年6名が安慶名城跡公園の駐車場擁壁、トイレ、倉庫など広範囲にわたり落書きをする。
平成12年 8月29日	キャンプ・マクトリアス	川崎	投石事件 器物破損	複数の米少年が施設内より民家に投石、駐車中の車のサイドミラーを破損する。
平成12年 12月28日	普天間飛行場	与那城町	不時着	普天間飛行場所属のCH-46ヘリが油圧システムのトラブルで与那城町内の公園建設予定地に不時着した。
平成13年 1月	キャンプ・マクトリアス	みどり町	器物破損	米少年3人組が公民館前のプランターの花を故意に伐採。
平成13年 2月22日	キャンプ・コートニー	基地内	実弾射撃環 境汚染	キャンプ・コートニー内で30年以上に渡って実弾を使ったクレー射撃を行っていたことが明らかになった。使用された鉛玉より、環境汚染されている可能性があり、米軍が調査。
平成13年 3月19日	キャンプ・コートニー	基地内	発砲事件	キャンプ・コートニー内でビザ宅配中の日本人従業員に向け、モデルガンからと見られるプラスチック弾が発砲された。
平成13年 4月2日、3日		栄野比	実弾、空砲 投棄	市の資源ゴミ保管所でM16ライフルと見られる空砲500発余と実弾1発が見つかった
平成13年 4月29日		石川	条例違反	石川市内に居住する海兵隊員の所有する飼犬が小学生に傷を負わせ、石川警察署に逮捕された。
平成13年 10月28日	ホワイト・ビーチ地区		銃暴発事故	ホワイト・ビーチ基地内で、海兵隊員が所持する銃が暴発した。
平成13年 11月14日	キャンプ・マクトリアス	川崎	投石事件	基地内から小学生らしき子ども達が民家や市道に向けて拳太の石を100個近く投石。

平成14年 2月19日	キャンプ・コートニー		器物破損	キャンプ・コートニーの所属の米兵2人が飲酒して帰宅途中、1人がゴミ箱を蹴り、もう1人が植木鉢を階下に落とすなどした。
平成14年 4月12日		石川市石崎	器物損壊	外国人少年2名が、石川公園公衆便所内壁等にスプレーを吹付け、器物を損壊し逮捕された。
平成14年 7月12日		栄野比	空砲投棄	市の資源ゴミ保管所で空砲72発が見つかった。
平成14年 9月8日	キャンプ・コートニー		ひき逃げ	キャンプ・コートニー所属の米兵が飲酒運転をし、オートバイを運転していた男子高校生を引き現場から逃走する事件が北谷町で発生。頭蓋骨骨折などの重傷を負わせた。
平成14年 11月2日	キャンプ・コートニー		婦女暴行未遂	キャンプ・コートニー所属の米兵が県内に住む外国籍の女性を乱暴したうえ、携帯電話を壊したとして逮捕される事件が起こる。
平成14年 11月29日		石川	空砲発見	石川市内の沖縄自動車道の路肩に空砲と思われる銃弾193発が落ちているのが発見される。
平成14年 12月14日	キャンプ・マクトリアス		傷害事件	タクシーに乗車し、目的地について料金を支払った後、いきなり3名で運転手の顔面等を殴打し、傷害を負わせ逃走したものの。
平成15年 1月30日		安慶名	交通事故	米軍のスクールバスが道路右側の歩道に乗り上げ、自転車に乗っていた男性をはね、写真店に突っ込んだ。
平成15年 3月2日	キャンプ・コートニー		窃盗事件	キャンプ・コートニー所属の米兵が市内からタクシーに乗り、那覇市松尾の路上で停止させ、売上金2万円余を盗んだ疑い。
平成15年 3月22日		石川	建造物損壊	午前2時15分頃、石川の飲食店内において、海兵隊1等軍曹が、意味不明な言動を発しながら、いきなり店舗の石膏ベニヤ壁を足蹴りし、建造物を損壊した。
平成15年 4月9日	キャンプ・マクトリアス	みどり町	窃盗・暴行	基地内の高校に通う少年3人が、タクシーの乗務員を殴り頭部打撲の軽傷を負わしたほか、料金として支払ったお金を奪って逃走した。
平成15年 5月23日	キャンプ・マクトリアス	西原	投石事件	基地内から小学生らしき子ども達が民家に向けて投石
平成15年 9月24日	陸軍貯油施設	昆布	油漏れ事故	午後5時頃、金武湾第1タンク群において、航空機燃料の荷揚げ作業中送油管の一部から約30ガロン（約100リットル）の燃料漏れが発生した。
平成15年 10月1日	ホワイト・ビーチ地区	南風原	器物破損	エセックス揚陸艦搭乗海軍兵2名が、走行中のタクシーを蹴飛ばし、ドアと窓ガラスを損壊。
平成16年 11月5日		昆布	農作物被害	米人の運転する車両がフェンスとサトウキビをなぎ倒す事故が発生。
平成17年 3月22日		みどり町	窃盗	午後3時頃、みどり町の店舗において、パスカードを所持していた者が靴1足を万引きしようとしたところ、発覚し、パスカードを調べている間に逃走した。
平成17年 4月7日	海上自衛隊	中城湾	触底	午前7時55分頃、護衛官「まつゆき」が、中城湾港西埠頭の南東約630m付近で触底した。
平成17年 8月7日		西原	接触事故	米軍人軍属の運転する車両が幼稚園児の乗る自転車と接触。幸いケガはなし。

平成17年 10月4日	嘉手納基地	国道329号	衝突事故	午後10時25分頃、嘉手納基地内居住の高校生が、国道329号バイパスで、対向車に衝突し、現場から逃走した。
平成17年 10月4日		みどり町	ヘリ騒音	第1回うるま市具志川まつりが開催されている上空を米軍普天間基地所属の攻撃ヘリAH1の旋回訓練が行われ、市民の生命・財産が危険にさらされた。
平成17年 10月16日	普天間飛行場	みどり町	ヘリ騒音	第1回うるま市具志川まつりが開催されている上空を米軍普天間基地所属の攻撃ヘリAH1の旋回訓練が行われ、市民の生命・財産が危険にさらされた。
平成18年 1月12日深夜	キャンプ・コートニー	昆布	深夜上陸訓練	キャンプ・コートニー内において、深夜空砲を使用した夜間上陸訓練が実施され、地域住民を不安や恐怖に陥れた。
平成18年 1月17日	嘉手納飛行場	伊計沖	墜落事故	嘉手納基地第44戦闘中隊所属のF-15イーグル戦闘機が海上訓練区域で訓練中に墜落し、市民に大きな不安と恐怖を与えた。
平成18年 9月25日		昆布	衝突事故	午後5時10分頃、昆布の県道75号線で、在沖米海軍所属1等兵曹の運転する車が交差点を左折した際、同じく左折した大学生運転する二輪車に衝突した。
平成18年 10月25日		浜比嘉島	強盗致傷	午後10時頃、浜比嘉島において、一般外国人が米軍人等（海軍軍人の夫及び海兵隊員）の2人組に刃物で首を切られて財布、携帯電話等を奪われた。
平成18年 12月12日	ホワイト・ビーチ地区	平敷屋	油漏れ事故	ホワイト・ビーチで油漏れがあり、岸壁付近の油は11日午後3時15分頃回収され、海面の油は拡散した。原因や漏出量は不明。
平成19年 3月5日	キャンプ・マクトリアス	川崎	投石	キャンプ・マクトリアスから、県道224号線走行中の車に投石。幸い運転手にケガはなかったが、一歩間違えば重大事故になりかねない危険性があった。
平成19年 5月11日	キャンプ・ハンセン	沖縄自動車道石川インター近く	トレーラー横転	午前10時40分頃、沖縄自動車道（那覇向け 屋嘉～石川インター間）で米軍トレーラーが横転、走行中の一般車両が事故を避けようとして中央分離帯に接触。車両に乗っていた夫婦に怪我はなく、トレーラー運転手が腕に擦り傷を負った。
平成19年 5月16日	嘉手納基地	江洲	傷害致死	4月11日午前7時30分頃から午後0時34分頃までの間、空軍兵の夫が息子（8歳）に暴行を加え内蔵損傷により死亡させたとして、5月16日傷害致死容疑で逮捕された。
平成19年 5月16日	嘉手納基地	勝連南風原	車両事故	午前10時15分頃、県道16号線で嘉手納基地所属空軍2等軍曹がボートを牽引して走行中、対向車線を走行中のうるま市在住の女性が運転する車両と接触。女性運転手が顔面を負傷する。
平成19年 5月21日		与那城総合公園近く	車両事故	午後5時半頃、与那城総合公園の県道沿いを外人車両が走行中、居眠り運転により歩道に乗り上げ、運動表周辺のフェンスを破損、植栽も倒された。
平成19年 6月26日	航空自衛隊那覇基地	浮原島の南東約6km付近	部品落下	6月25日午後1時10分頃、浮原島の南東約6km付近で那覇救難隊が洋上救出訓練中に、救護用担架を洋上に投下したところ担架が海没し、紛失した。日没まで捜索したが、発見できなかった。
平成19年 7月18日		田場	無断進入	午後4時50分頃、沖縄県立高等養護学校に米軍車両（装甲車）が無断で進入し、Uターンして出ていった。
平成19年 7月26日	ホワイト・ビーチ地区	平敷屋	油漏れ事故	午前7時30分頃、ホワイト・ビーチ海軍棧橋のパイプラインから燃料約10ガロン（約37リットル）が流出した。オイルフェンスの設置及び吸着マットにより10時15分頃に回収した。
平成19年 8月6日		田場	無断進入	午後2時44分頃、沖縄県立前原高等学校に米軍車両が無断で進入、構内のロータリを1周して出ていった。

平成19年 11月14日	キャンプ・マクトリアス	川崎	投石	キャンプ・マクトリアスから投石。川崎自治会長が目撃。幸い運転手にケガはなかったが、一歩間違えば重大事故になりかねない危険性があった。
平成19年 12月26日	嘉手納基地	南風原	車両事故	午前6時35分頃、南風原の与勝郵便局付近で、第18航空団所属の3等軍曹の運転する普通自家用乗用車が、民間車両と正面衝突した。両当事者は軽傷。
平成20年 2月4日	ホワイト・ビーチ地区	平敷屋	油漏れ事故	米陸軍第505補給大隊が停泊中の海上輸送部隊船に燃料を補給しようとしたところ同船舶周辺に油膜を発見、油は船舶用の油で、流出量は約1ガロン（約4リッター）。10時30分頃までに回収した。原因は調査中。
平成20年 3月27日		田場	無断進入	午後1時59分頃、沖縄県立沖縄高等養護学校に米軍車両（荷台付き四輪駆動車）が無断で進入し、Uターンして出て行った。
平成20年 4月30日	キャンプ・ハンセン	赤道	車両事故	29日午前0時10分頃、米海軍所属の軍人が、赤道の県道で信号待ちをしていた日本人の運転する車に玉突き衝突した。相手が全治1週間程度の人身事故
平成20年 6月7日		赤道	器物損壊	在日米海軍所属の1等水兵が、赤道の駐車場で自営業の男性（50）が所有する普通乗用車の車幅ライト（約5千円相当）を足で蹴って壊した。
平成20年 8月11日	ホワイト・ビーチ地区	田場	死亡事故	午前6時50分頃、田場281番地1付近の市道でホワイト・ビーチ所属の米軍女性兵が運転する車両と男性社員が運転するオートバイが衝突し、オートバイを運転していた男性社員が、搬送先の病院で死亡する事故が発生した。
平成21年 3月5日	嘉手納基地	浜比嘉島	緊急着陸	午後1時45分頃、海軍ヘリMH-602機が嘉手納基地に向かう途中、悪天候により、浜比嘉島の浜辺に予防着陸した。10分程度待機後、天候の改善が確認できたので嘉手納に向け飛び立った。
平成21年 6月11日	海上自衛隊（佐世保基地所属）	市内のホテル駐車場	強姦未遂事件	午前4時55分頃、市内のホテル駐車場でホワイト・ビーチに停泊中の長崎県佐世保基地所属護衛艦「あさゆき」の隊員が泥酔状態で強姦未遂事件をおこし、民間の人に取り押さえられる事件が発生した。
平成21年 6月11日		勝連津堅	訓練中の落下傘降下ミス	津堅島訓練水域で行われたパラシュート降下訓練中に米軍隊員の1人が津堅島の南の防波堤の近く（提供訓練水域外）に降下したと、津堅島の漁業者より連絡があった。同水域は、漁船の往来が多く、一歩間違えば大きな事故に繋がりがねない危険性があった。

豆知識

【米軍人とその家族は、日本の自動車運転免許証を持っているの？】

（出典：外務省ウェブサイト）

日本にある米軍人、軍属及びそれらの家族が日本で自動車を運転するためには、在日米軍による日本の交通法規等の講習を受けた上で、在日米軍が発行する運転免許証を携帯することとされています。